

コロナ禍でも新鮮野菜で地域に笑顔を
～いろどり なとり 産直マーケット～

名取市の旬の食材をPR販売する「いろどり なとり 産直マーケット」が好評だ。

この催しは、市の豊かな農産物や水産加工品をもっと消費者に知ってもらい、食べてもらう地産地消の取り組みとして、2019年4月から始まった。毎月第3水曜日に、市役所玄関前の野外テントで開催されている（※時間は、10時から13時半頃まで。売り切れ次第終了）。



農産物の販売は市内の産直グループ「産直ネットワークなとり」が担当し、会員である「トマト会」など9団体が持ちまわりで行っている。

トマト会代表の高橋京子さんは「初めは接客対応に苦労したが、今はお馴染みさんも増えてきた。お客さんからこれが食べたいと聞くと、今度はどう作付けしようかと考え作る楽しみがある。対面

ならではの面白さだ」と笑顔で話す。

手間はかかるが、1畝ずつ時期をずらして作付けし、早生品種から晩生品種まで長く収穫できるよう考えながら作る。お客さんからも、新鮮さはもとより「顔の見える相手から買える安心感がある」「おいしい調理法が聞けるのがうれしい」と好評で、売上も順調に伸ばしている。



地元農家と消費者をつなぐ「いろどり なとり 産直マーケット」の今後の取り組みが期待される。

【記事提供：名取市農業委員会】